



Photo by Kenji Mori

平澤 仁・竹村浄子

ジョイント・コンサート

～シューマンへの道～

<プログラム>

バッハ:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第3番 BWV1016
ベートーヴェン:ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第6番「春」Op.24
シューマン:アラベスク Op.18(ピアノ・ソロ)
シューマン:ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第2番 Op.121 他

5月13日開演:14:30(開場 14:00)

会場:ラリール*地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅徒歩6分

入場料:4,000円(全席自由)

***ワイン、ドリンク付き**

チケットの予約及びお問い合わせ:(株)フロレスタン Tel.03-6457-4695 <http://www.florestan.co.jp>

PROFILE

平澤 仁 (ヴァイオリン)

5歳よりヴァイオリンを始め、埼玉県立浦和高校を経て、1981年東京芸術大学音楽学部に入學。1985年同大学院に進む。同年、第54回日本音楽コンクール(毎日新聞社:NHK 共催)に入選。1986年より国際ロータリー財団奨学生として、ジュリアード音楽院に留学。1988年、同音楽院の修士課程を修了、帰国と同時に東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターに就任。以来、二十年余に渡って定期演奏会、新国立劇場のオペラ、バレエ公演などの重責を果たした。ソリストとしても、メンデルスゾーン、チャイコフスキー、コルンゴールドなどのヴァイオリン協奏曲を東京フィルと共演している他、1991年より定期的に東京文化会館にてリサイタルを開催し研鑽を積んでいる。また室内楽の分野でもアンサンブル・エスパスのメンバーとしての演奏会の他、各地の音楽祭にも出演。マルタ・アルゲリッチ、イヴリー・ギトリス、ポール・メイエら内外の著名アーティストと共演している。これまでに、原田幸一郎、田中千香士、広瀬悦子、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫の各氏に、また室内楽をヤコブ・ラタイナー、サミュエル・ローズの各氏に師事。ナミレコードより発売されたソロCD「虚空はるかに」(WWCC7380)は、各方面で高い評価を得ている。使用楽器はストラディヴァリウスやグァルネリ・デル・ジェズと並び称されるカルロ・ベルゴンツィ(1736)。今後は、これまでの経験を生かした各オーケストラへの客演に加え、ジャズ、ポップスコンサートにも出演するなど、ジャンルを超えた多彩なソロ活動が大いに期待されている。

竹村 浄子 (ピアノ)

東京芸術大学音楽学部器楽科卒業、同大学大学院修士課程修了。1991年日本音楽コンクール/ピアノ部門で第3位入賞。学内にて「安宅賞」受賞。1993年大学卒業と同時に東京文化会館にてデビュー・リサイタルを開催。1994年マリアカナルス国際音楽コンクールで第3位入賞並びに審査員特別賞受賞。1995年ショパン国際ピアノコンクールにてディプロマ受賞。その後、大学院修士課程ピアノ科を首席で修了し「クロイツァー賞」受賞。1997年から東京・紀尾井ホールなどで定期的にリサイタルを開催。数多くのオーケストラとソリストとして協演。室内楽、二台ピアノ、歌曲伴奏などのアンサンブルも手掛け、これまで共演した演奏家は多数、幅広いレパートリーを持つ。ラジオ、雑誌などメディアにも多数出演。全国各地でコンサートに出演する傍ら、病院、特別支援学校などでの訪問コンサートも積極的に行っている。CD〈竹村浄子プレイズシューマン〉2枚がEMIより、CD〈祈り〜グルダのアリア〉がディスク・クラシカ・ジャパンよりリリース。「温かく透明な音色で作曲家の心象を映し出すピアニスト」として幅広く活躍している。

オフィシャル・ウェブ・サイト <http://www.yy.ale.co.jp/johko-t/>

ラール

Tel.03-3942-2830

地下鉄丸の内線 茗荷谷駅下車 徒歩6分

